



庄報

しげのぶ

平成7年 11月 No.268



手作り御輿でワッショイ!

上林保育所園児

上期町財政状況	2・3	税金	7	社会教育	12
議会だより	4	重信史談発行 他	8	女性だより	13
国保・年金	5	図書館	9	お知らせ・かわら版	14・15
同和教育	6	平成8年成人式該当者名簿 他	10・11	戸籍・町民カレンダー	16

人の動き 10月1日現在 世帯数7,490(+2) 総人口22,022(+2) 男10,570(+4) 女11,452(-2)

状況公表

(4～9月)

政状況の公表に関する条例
の財政状況を公表します。

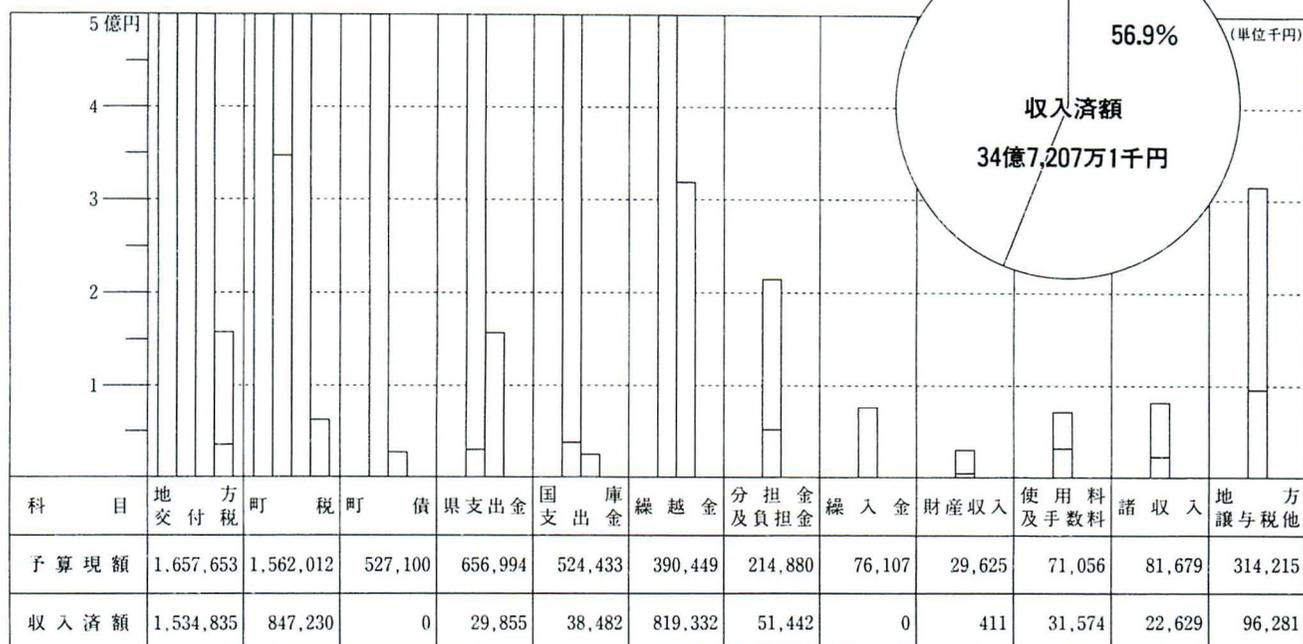


拝志小学校大規模改造工事

一般会計予算執行状況

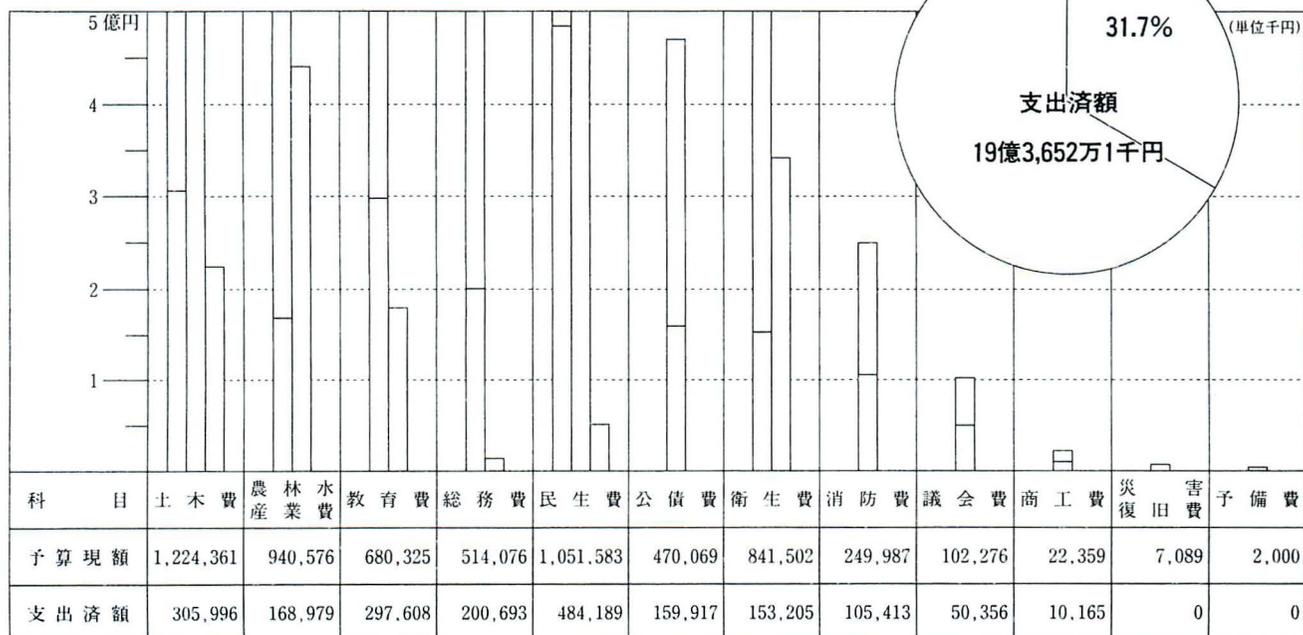
歳入

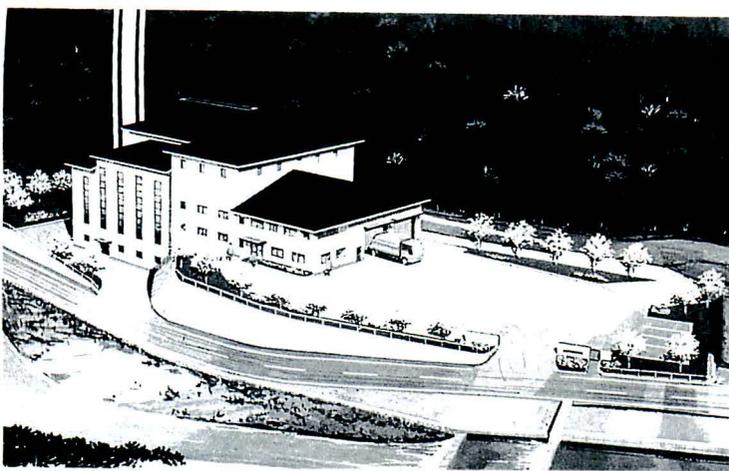
予算現額 61億620万3千円
 収入済額 34億7,207万1千円(収入率56.9%)



歳出

予算現額 61億620万3千円
 支出済額 19億3,652万1千円(執行率31.7%)





ごみ焼却施設完成予想図(山之内)

重信町財政

平成7年度上半期

地方自治法及び重信町財政
に基づき平成7年度上半期

町民が負担する税

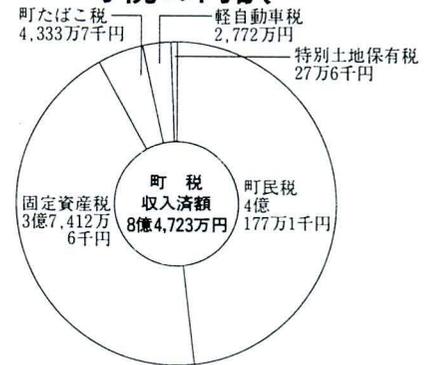
税 額
1,562,012,000円
1人当たり(人口22,022人)
70,930円
1世帯当たり(7,490世帯)
208,546円

税等の収納高

(単位千円)

	予算額	収納高	収納率 (%)
町 民 税	809,896	401,771	49.6
固定資産税	639,470	374,126	58.5
その他の税	112,646	71,333	63.3
国 保 税	345,829	110,082	31.8
水 道 料	164,499	56,514	34.4

町税の内訳



地方債の現在高

(単位千円)

借入先区分	資金運用部	年 金	簡易保険局	公営企業 金融公庫	共済組合	市中銀行	計
一般公共事業	376,025		1,093				377,118
公営住宅建設事業	160,650		151,964	28,550			341,164
災害復旧事業	44,118						44,118
義務教育施設整備事業			282,466			75,000	357,466
一般単独事業	433,432		1,036,114	15,000	42,200	316,676	1,843,422
地域改善対策事業	397,294						397,294
厚生福祉施設整備事業		196,219					196,219
上水道事業	5,800			5,700			11,500
財源対策債	19,398	4,382	26,730				50,510
臨時財政特例債	239,011						239,011
公共事業等臨時特例債	44,300						44,300
調整債	11,375						11,375
減収補てん債						35,000	35,000
減税補てん債	159,800						159,800
計	1,891,203	200,601	1,498,367	49,250	42,200	426,676	4,108,297

特別会計予算執行状況

(単位千円)

会 計 名	予 算 額	収入済額	支出済額
住宅新築資金等貸付事業	19,506	4,859	5,252
老人保健	2,049,876	831,206	753,708
国民健康保険	1,172,096	431,161	436,773
簡易水道事業	203,548	72,711	78,603
土地区画整理事業	787,000	319,872	67,407
農業集落排水事業	479,166	5,000	5,182



九月定例議会

下林地区ほ場整備事業費など

一般会計二億七千三百万円を補正

第百五十七回重信町議会定例会は九月二十六日に招集され、九月二十九日までの四日間の会期で開かれました。

提出された二億七千三百七十六万六千円(累計六十一億六千二百三十三万三千円)の一般会計補正予算など、十議案を原案のとおり可決、同意しました。

また、議員提案による「中華人民共和国及びフランス共和国の核実験に反対する決議について」は採択し、中華人民共和国国家主席と、フランス共和国大統領に決議文を送付することになりました。

一般質問は五名の議員から環境教育、許認可問題、子育て支援等町づくり、交通事故防止対策として道路環境づくりや交通標識等の整備、保育行政、し尿汲み取り等改善、官官接待等について、コメ・農業関係、消費税増税問題、ナイトケア、介護保険構想な

ど、広範囲にわたって行われました。

今回議決された主なものは、次のとおりです。

◎一般会計補正予算

○農業振興事業

三八、四〇五千元

○農地費等(土地改良)

五〇、五九〇千元

○土地改良事業

(下林ほ場整備)

六〇、七四七千元

○林道改良事業

二七、八〇〇千元

○志津川伽呂線改良事業

四三、八三八千元

◎監査委員に選任

任期満了に伴う監査委員に

伊賀利春氏(志津川・再)を選任することに同意しました。

◎教育委員の選任

任期満了に伴う教育委員会

委員に、池川敏朗氏(見奈良・再)を選任することに同意

しました。



◎人権擁護委員の推薦

任期満了と増員に伴う人権

擁護委員に八木光秋氏(牛瀨・

新)橋茂喜氏(志津川・新)、末

光良男氏(志津川・新)を推薦

することになりました。

◎選挙管理委員会委員及び同

補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委

員会委員に、菅原忠敏氏(上

林・再)、近藤榮宏氏(横河原・

再)、水田實氏(田窪・再)、森

正氏(北野田・再)を、同補充

員に八木淳一郎氏(牛瀨・新)、

渡部博明氏(西岡・新)、武智

久雄氏(上村・再)井門亀男氏

(牛瀨・再)を選出しました。

重信町健康づくり推進大会記念講演



講師 女優 大場久美子

演題 「健康ってすばらしい」

日時 平成7年11月26日(日)

開演 13時00分

(開場 12時40分)

会場 町民会館 大ホール

聴講料 聴講料は無料です。

ただし、入場整理券が必要です。

(役場町民課、町民会館窓口にて配布)

主催 重信町・重信町国民健康保険



町では、九月二十八日老人福祉大会で平成七年度老人保健受給者の健康優良表彰を行い、表彰状と記念品を贈りました。該当者の方々は、平成六年四月から平成七年三月までの一年間一度も医療機関にかからなかった方々です。受賞者は次の百二十二人です。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 山之内 | 加藤チカヨ | 川村ノブエ | 和田トシ子 | 樋口 | 佃 マツ | 渡部ミサヲ | 恒岡 利一 | 水田ユキエ | 渡部 景晴 | 恒岡多喜男 | 藤田 宗一 | 藤田 恒重 | 森 亀久 | 世良富美江 | 谷野宮丑雄 | 中島アヤ子 | 恒岡 光枝 | 藤岡 英夫 | 和田 利行 | 和田 富雄 | 藤田 清子 | 和田 宗雄 | 横河原 | 木村フミ子 | 渡部テル子 | 時松 厚男 | 桑原夏代子 | 笠松 功 | 土居ハル子 | 参川アヤコ | 一橋千代子 | 和田キヨミ | 岡本ミドリ | |
| 志津川 | 宮田 義行 | 泉 辰雄 | 岩川龍五郎 | 宮田百太郎 | 玉井マサコ | 宮内 益雄 | 神野 譽 | 西岡 | 佐伯チエノ | 山内 敏子 | 松本 ツギ | 青柳 静子 | 見奈良 | 池川 茂 | 高塚トラヨ | 角田 綱義 | 山内 勉 | 上野キミヨ | 岡田 綱行 | 秋山喜美恵 | 吉良マサエ | 河野 直信 | 渡部 緑 | 田窪 | 東 ヤスヨ | 大西 英行 | 渡部 益太 | 大西 数雄 | 松田 時子 | 水田 信一 | 村上チヨノ | 三田サトル | 大西 邦子 | |
| 東 久子 | 森 宙吾 | 東 利子 | 田井野ウエコ | 奥平ツユミ | 野本 里恵 | 中山 亘 | 森 岑茂 | 渡部ヨリ子 | 小林田鶴子 | 桐間エツ子 | 牛淵 | 大北フデコ | 八木シゲコ | 大北サカエ | 上野イマ子 | 丸岡キミコ | 野中ミチカ | 高須賀君恵 | 山内 一雄 | 宮内 頼子 | 新宮 冬子 | 一橋不苦介 | 高田 久子 | 南野田 | 宮寄 政一 | 上野 廣美 | 平岡楠太郎 | 北野田 | 八塚 君代 | 井門 鶴美 | 福積 薫 | 隅田ユリ子 | 上林 | |
| 八木 操 | 山内明次郎 | 森 タマコ | 森 サワヨ | 渡部アキヨ | 渡部千代子 | 森 クマノ | 森 フジエ | 菅野 覺廣 | 森 ナツ子 | 篠原 市三 | 森 計三 | 西尾千代子 | 下林 | 森 秀一 | 高橋 徳一 | 丹生谷 幸 | 高橋キミ子 | 森 カスミ | 渡部イリエ | 井上 孝代 | 森 ヒサノ | 杉尾 寛 | 小池ミチ子 | 越智 實 | 井上 恵 | 井本ヤエ子 | 上村 | 永野 好貞 | 門田トキエ | 高須賀重胤 | 津川カメヨ | 仙波 秋 | | |

国民年金の保険料の納め忘れは
ありませんか？



農林漁業者や自営業者・学生など第一号被保険者及び任意加入被保険者の皆さん、保険料の納め忘れはありませんか。

皆さんが将来年金を受けるためには、加入しているだけでなく、毎月の保険料をきちんと納めることが必要です。納めないまま放っておくと、老後は言うまでもなく、万一の場合にも年金を受けられないこととなります。「保険料を付けても…」とか「今のうちから老後の蓄えなんか…」と言わず、家族の将来を考えて納め忘れのある保険料は今すぐ納めましょう。

■保険料の前納制度
保険料は前納することができ、前納期間に応じて保険料が割り引きされ有利になるばかりでなく、何かと忙しい方には、手間が省け納め忘れもなくなります。

■保険料の口座振替
あなたの指定された金融機関から、毎月、自動的に払い込まれますので、納め忘れもなく便利です。

■納付組織の利用
納税組合等地域の納付組織に加入すると納め忘れがありません。詳しくは、役場町民課の国民年金係までお問い合わせ下さい。

同和 教育

飾っていませんか、 北海道土産「木彫りの熊」

北海道の民芸品で一番ポピュラーなのが、アイヌの神である「熊」の木彫りです。

「**這い熊・立ち熊・座り熊・鮭負熊**」など、素朴な味わいが北海道をおとずれる観光客の人気を呼んでいます。

彫刻はアイヌ唯一の美術であります。

ひよっとしたら、皆さん方の家庭にも、北海道旅行の土産として部屋に飾られてはいませんか。

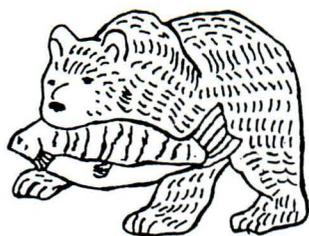
今から約十年前、日本のある元総理大臣がアメリカ人の知的水準についてふれた際に、「アメリカは黒人とか、プエルトリコとか、メキシカンとかが相当いて、平均的にみたら非常に低い。それにくらべて日本は単一民族国家なので……」と発言してアメリカカ

ら激しい抗議を受けました。この発言の内容には、二つの問題点があります。

一つは、黒人をはじめとするマイノリティー(少数被差別集団)の知的水準が低いという人種差別意識。

もう一つは、日本は単一民族国家だという誤った国家観であります。

当然、北海道のアイヌの人たちで作っている北海道ウタリ協会も、「アイヌ民族がい



る、アイヌ民族は少数民族として差別を受けている」と強く抗議をいたしました。

学者の説によりますと、北海道でのアイヌの存在は弥生時代(約二千年前)で、日本人が北海道に入ったのは鎌倉末期(約七百年前)だと言われています。

明治二年、蝦夷ヶ島が北海

道と命名され、翌明治三年にアイヌ民族が日本の戸籍を与えられ日本人となります。

そして、明治政府は本州から開拓民を入れて北海道を開拓しますが、アイヌに対しては同化政策をとり、アイヌの言葉、文化、信仰、生活習慣を禁止し、日本人の真似を強制しました。

こういった同化政策はアイヌの人たちの生活を苦しめる結果となりましたので、明治三十二年、政府は「北海道旧土人保護法」を作り、農業で生活を安定させようとしたが、与えられた土地は湿地、山、谷底など条件が悪く、その上、農具も経験もないアイヌの人たちには、農業で生活することは不可能でした。

この法律についてアイヌの人たちは、現在、「旧土人というのとは差別的表現ではないか、また、北海道はもともと自分たちが住んでいた自分たちの土地なのに、後からやってきた者がぐれてやるというのはおかしい」と反発しています。

政府もこの法律の改正を考えています。北海道ウタリ協会は、「法律の名前を改める」という小手先の改正ではなく、

アイヌ民族の基本的な人権を保障する新しい法律を作ってほしい。」と主張しています。

近々、人種差別撤廃条約の調印と批准が国会で論議されそうです。

そうなりますと、部落差別や民族差別の問題が改めて話題となるのが予想をされます。

日本が本当の意味で国際社会で指導的役割を果たすためには、国あげての人権意識の高揚と多種多様な民族の存在やその文化、伝統の尊重が大切かと思えます。

北海道土産の木彫りの熊にも、そんな願いが秘められているのかもしれない。



篤志寄附

重信町社会福祉協議会に次の方から金一封を寄付下さいました。

- 藤岡 藤恵さん (横河原)
- 和氣 節子さん (樋口)
- 松田 洋一さん (牛淵)

郷土史講座 特別企画

日時 十二月十日(日)

場所 町民会館

第一・二研修室

共催 重信町教育委員会
重信史談会

講師 渡部 茂 先生

(元自衛隊愛媛地方
連絡部長)

演題 「人間 三島由紀夫
を語る」

聴講料 無料

どなたでも聴講できます。

問い合わせ先 歴史民俗資
料館 六四一五〇〇
内線五〇三

秘密厳守 無料 人権問題に関する電話相談

12月7日(木) 午前9時～午後9時

☎0120-025-550

主催 松山地方法務局
愛媛県人権擁護委員連合会

長期譲渡所得の課税の特例の改正

平成七年度税制改正の一環として、個人の土地等の譲渡にかかる長期譲渡所得課税の税率等が改正されました。

土地建物等の譲渡所得に対する税金は、分離課税として他の所得と区分して計算され、さらに売った土地をいつから持っていたかにより、長期譲渡所得と短期譲渡所得に分けられ、それぞれの方法で計算されます。

このうち、土地建物を買った年の一月一日現在で所有期間が五年を超える長期譲渡所得に対する課税は、譲渡価格から取得費、特別控除等を控除した課税譲渡所得に一律三〇%（町県民税は、別に九%）の税率を乗じて計算されていましたが、改正により、平成七年一月一日以後に行う長期

譲渡については、課税譲渡所得四〇〇〇万円以下の部分の税率が二五%（町県民税は、別に七・五%）となりました。

なお、四〇〇〇万円を超える部分の税率は、従来どおりですが、平成八年一月一日以後に譲渡をする者が、その前年にも長期譲渡所得を有する場合には、当該長期譲渡所得をその年の長期譲渡所得に加算して改正後の税率区分による税額計算を行い、その算出税額から前年の長期譲渡所得にかかる税額を控除した残額をその年の税額とする特例が設けられました。

税を知る週間について

国税庁では、「この社会あなただの税が生きている」をスローガンに、今年も十一月十一日(土)から十七日(金)までの期間を「税を知る週間」とし、全国一斉に多彩な行事を展開します。

松山税務署では、この週間に先立って、「95税と健康展」を開催するほか、週間中は租税教室や座談会、税の作文の表彰などを行い、皆さんに税の意義や役割についての理解

を深めていただけるよう、各種イベントを実施します。

○「95税と健康展」

十一月六日(月)、七日(火)の両日、フジグラン松山(松山市宮西町)で開催します。

会場では、無料税務相談や無料健康相談、健康と税に関するパネルや作品の展示、パソコンによる税金クイズ、地域医療システムの紹介など健康と暮らしをとおして税を身近なものとして考えていただくような内容です。

○国税モニターとの座談会



納税者の中からお願いしている国税モニターとの座談会を行います。税に関するご意見をいただきます。

○税に関する作文の表彰

中学生、高校生から募集した作文の入選作品の発表と表彰を行います。

○租税教室の開催

児童・生徒などを対象に教室を開き、ビデオや税金クイズ等をとおして税の意義や役割を学んでいただきます。

松山税務署移転のお知らせ

お知らせ

松山税務署及び税務相談室松山分室は、左記の場所に建設中の「松山若草合同庁舎」に移転することになり、十一月十日(金)から、新庁舎において業務を開始します。

移転に伴いご不便をおかけしますが、何分のご協力をお願いいたします。

記

移転先

〒七九〇 松山市若草町

四一三 松山若草合同庁舎

電話番号

松山税務署

四一一九一二一

税務相談室松山分室

四六一四五八九



臨時保母登録者募集!

重信町では、保母資格をお持ちの方で、臨時保母として登録される方を募集しています。これは、今働いている保母が、出産や病気などで長期の休暇をとる場合に、代替保母として勤務をお願いするものです。

詳しくは、役場福祉課までお問い合わせ下さい。

☎64-2001(代) 内線253

徴収囑託員募集!

職務内容 町税及び国民年金保険料の徴収事務

募集人員 町税徴収員 男子1名

国民年金保険料徴収員 男子1名

年齢 55歳～60歳程度

待遇等詳細については希望者に個別に説明します。

希望者は、11月末日までに、役場総務課(☎64-2001

(代) 内線211)までご連絡下さい。

重信史談会(武智成彬会長)は、このほど会誌「重信史談」十四号(A5判・三〇〇頁)を発行しました。同会ではこの号を「終戦五十年記念号」とし、一般の方に実費頒布して



体験や、反戦への熱い思いが寄せられていますが、とくに印象深いのは渡部正寿氏「アジアの一隅にて」に載せられた川内町出身の医師仙波香介博士の日記。

終戦直後、満州国奉天省鞍山市には奥地から多数の引揚邦人が辿りつきました。想像を絶する寒空のもと、飢える者あり、病める人あり、この人たちは一様に鞍山満鉄病院の門を叩きました。この病院にいたのが仙波博士です。

「昭和二十年十一月二十二日、避難民来りて入院を乞う。もの問えば若き女は頬を掩い、われ避難者と言ひてひた哭く。避難者に夫はと聞けば、玉砕と言ひつつ頬に涙流る。雪空に夏着に慄う。この人にも夫と愛児をあやせし日ありき。みどり児を死なせし避難の若き母、飢えてや足も水腫れに張る「略」

飢えてや水腫れに——、医師らしい温かい眼、万葉をこ

八月十五日。五十年前のこの日、終戦の詔勅を聞いた人は全人口の何割いるでしょうか。戦争体験者が少なくなっていく中で、「戦争体験を語り継ごう」との声は大きく、大切なことです。忘れてはならないあの日のこと、あの日からのこと、あの日までのこと。

同誌には、会員諸氏の戦争

よなく愛した仙波博士の、胸を打つ一文です。他、同誌内容は次のとおりです。

- ▽〈巻頭言〉戦争の歴史を考える(武智成彬)
- ▽太平洋戦争最後の激闘「沖繩戦」―郷土部隊と郷土人―(和田章)
- ▽私の戦場、その足跡(和田良一)
- ▽粵漢鉄道隠密挺身作戦(渡部正寿)
- ▽二・二六事件の回想(山内三夫)
- ▽遙かなり歲月―ある引揚少女の戦後五十年(武智成彬)
- ▽アジアの一隅にて(渡部正寿)
- ▽歩兵百二十二連隊の死闘(別府頼雄)
- ▽彫刻家越智綱雄の話(井上龍雄)
- ▽庶民が墓標を立てはじめるところ(高橋大藏)
- ▽終戦五十年を回顧して(和田喜志夫)

歴史民俗資料館だより

十一月からの企画展 「戦争・重信の人々は…」

先にお願いをし、みなさまから寄せていただいた「戦争」に関する資料を中心に、日清・日露・日中・太平洋戦争と流れを追いつつ、

- 戦場からの葉書や資料。
- 町内で戦争に関わった場の記録・資料。
- 戦争に対する当時の町民の思いの記録。
- 日清から太平洋戦争までの全戦没者の氏名と年令。
- 太平洋戦争当時の世界地図などを通して、戦後五十年の節目に戦争の虚しさを若い人々へ語りつぐ企画展です。



▲昭和14年7月 国第病河
立愛媛療所傷横
1回入所迎える景
兵を迎える光景
原駅の

貴重な資料としては、町内にもあった特別攻撃隊の分散訓練地の資料や臨時招集令状などが展示されます。十一月三日より二月二十八日まで
休館日
毎月曜日・祝日・
第三日曜日・年末
年始
問い合わせ先
☎六四一五〇〇(代)
内線五〇三

移動図書館車運行日程表

巡回日	時間	場所
毎月15日	9:30~10:00	山之内 高岡商店前
	10:05~10:35	" 麓橋前
	10:45~11:00	" 井口集会所前
	11:10~11:40	樋口 菖蒲バス停前
	13:30~14:00	" 石丸商店前
	14:15~15:00	" 水田直弘氏宅前
	15:15~16:00	横河原 駅前
毎月17日	9:30~10:15	志津川 集会所前
	10:25~11:00	" 団地ストア横
	13:30~14:15	八反地 集会所前
	14:25~15:10	西岡 集会所前
	15:20~16:00	" 丹生谷石油横
毎月20日	9:30~10:10	田窪 集会所前
	10:20~10:50	堀池 集会所前
	11:00~11:30	牛瀨 集会所前
	13:30~14:30	牛瀨団地 第二集会所前
	14:35~15:30	上樋団地 朝比奈酒店前
	15:35~16:30	播磨台団地 集会所前
毎月22日	9:30~10:30	北野台団地 集会所前
	10:40~11:30	新村 旧JA重信町新村支所横
	13:30~14:20	北野田 集会所前
	14:30~15:20	南野田 集会所前
毎月25日	9:30~10:10	上村 石丸商店前
	10:15~11:00	" JA重信町上村支所前
	11:10~11:50	下林 宮ノ段集会所前
	13:30~14:20	" 別府集会所前
	14:30~15:20	" 高橋商店前
毎月27日	9:30~10:15	" 八幡集会所前
	10:25~11:10	上林 二ノ瀬集会所前
	11:20~11:50	" 公民館前
	13:30~14:10	" 五本松集会所横
	14:15~15:00	" 菅野商店横
	15:10~15:30	" 中筋集会所前

(注)運行日が月曜日、第三日曜日、祝日にあたる場合でも運行します。

移動図書館車には 新刊がいっぱい

遠距離サービスとして巡回しています移動図書館車には、すべて新刊図書を積載しています。おおいにご利用下さい。

愛媛県読書活動 研究地区集会開催

「読書を通してお互いの心の触れ合いを図ろう」という趣旨のもとに、表記の集会在、平成八年一月二十三日(火)町民会館大ホールにおいて開催されます。

内容は、親子読書や町内読書グループによる事例発表、また分科会、講演会などがあります。読書愛好家の方々の多数のご参加をお待ちしております。

申し込み先
教育委員会(☎六四一―一五〇〇代)
図書館(☎六四一―三四一四)
締切十二月十二日(火)。

《今人気の本》

○ソフィーの世界
ヨースタイン・ゴルデル
○八代将軍吉宗
ジェームス三木
○遺書
○松本人志
○蔵(上) 宮尾登美子
○ぐりとぐら
○中川季枝子
○日本のおばけ話
○わらい話
○シリーズ木暮正夫
○かいけつゾロリ
○シリーズ原ゆたか
○ズッコケ三人組
○シリーズ那須正幹
○アルジャーノンに花束を
○イダニエル・キイス

本を読んだね! いい顔してるよ

<11月休館日>

3日、6日、13日、19日、20日、23日、27日、30日

図書寄贈のお礼

○稲荷善一さん
○金澤豊さん
○西村敏彦さん
○岡山靖子さん
○東敬子さん
○小川勉さん
○佐伯香織さん
○岡省吾さん
○相原一さん
○古河徳仁さん
○森田栄子さん
○渡部次郎さん
○穴吹義教さん
○河原和子さん
○高橋洋美さん
…以上の方々から図書を寄贈下さいました。ありがとうございました。

松山広域都市計画区域 新用途地域への切替え案説明会

都市計画法に基づく用途地域制度は、良好な市街地環境の形成や、住居、商業、工業などの適正な配置による機能的な都市活動の確保を目的として、建築物の用途、容積率、建ぺい率、高さなどを規制・誘導する制度です。

この用途地域制度について、平成四年の都市計画法及び建築基準法の改正により、住環境の保護、市街地形態の多様化への対応等を目的として、用途地域の種類が八種類から十二種類になりました。

この用途地域制度の改正に伴い、従来定められていた用途地域を新用途地域に指定替える都市計画の決定が平成八年六月を目途に行われる予定となっております。

松山広域都市計画区域において、現在指定替えについての各種作業が行われており、重信町における市街化区域(二四三ヘクタール)についても新用途地域の案がほぼまとまりました。

そこで、この案についてご理解をいただくため、次のとおり説明会を開催いたします。

日時 平成七年十一月二十二日(水)

午前十時~十二時

場所 町民会館第一・二研修室

問い合わせ先

役場建設課

☎六四一―二〇〇一代 内線四二二一

平成8年 成人式

S50.4.2生 ～ S51.4.1生



晴れの門出をする新成人を迎え、その前途を激励・祝福するため、明春一月十五日、町民会館において成人式を行います。

十二月末までに、往復ハガキでご案内しますので、ぜひご出席下さい。

なお、勤務や学校の都合で町外に居住している方で「ふるさと重信」の成人式に参加希望する方、また、下記の名簿に載っていない方は、教育委員会社会教育課(☎六四一五〇〇)までご連絡下さい。(名簿は、十月一日現在、住民登録をされている方です。)

山之内

今井 孝志
立花 美和
和田 昌之

樋口

青木 純
磯金 逸人
大北 広美
黒河 功仁
佐伯 匡一
佐々木隆二
高崎 摩弥
恒岡 慶成
藤岡 秀成
渡部 昌美
渡部 祐子
和田 吉史

横河原

伊藤 景介
井門 賢一
岩本 美樹
遠藤美由紀
岡田 淳
岡本あおい
小倉 章吾
小栗 泉
加嶋 亜紀
加藤 洋子
菊池 洋次
小阪 修治
椎葉 龍
丹下 龍恵
丹下 雅隆

智葉 孝樹
長曾我部研士
土居 宏之
深澤 知美
藤岡亜紀子
松久 典弘
宮川 嘉一
村上 敦
八木 雅生
安井 千景
吉井 邦好
吉田 涼子
渡邊 貴子
渡部 涼子

志津川

青井 俊樹
猪口 竜也
岩川 孝之
大西 政嗣
岡村 新一
織田 浩江
片山 英司
門家 聖子
金子 恵里
川上 大祐
栗山 高志
合田 緑
齋藤 華代
塩出 英敏
末光 真美
杉原紀久子
杉原 丈夫
高須賀 潤
高田 理恵
高橋 純子

武智 幸一
千葉 倫敬
中村 美香
長井さおり
藤本 純子
宮脇由美
三好 玄哲
村上 かよ
八木 優子
山内 麻紀
山川 亜希子
山先真也子
山下 修平
山本 友則
渡部 彩
渡部 貴満
渡部 紀子
和田 京子
和田 浩二
和田由香里
和田 幸恵

西岡

相原 康貴
伊賀 俊光
岡本 芳美
篠原 小織
丹生谷佐織
正岡 涼子
山田 知弘

見奈良

浅井 美紀
池川 愛子
池川 幸代
池川 慎也

池川 徹
石川ルリ子
上田 真弓
岡田 葉子
小野 奈桜
門部 知史
金田 直美
菊澤 ゆか
乗名 孝浩
佐々木美紀
重松 陽子
杉本 徹
曾我エリカ
高城真奈美
高橋 淑香
田上 良昭
竹岡 愛
谷本 麗香
谷本 妙子
辻 妙子
中川 直幹
西原 美保
二宮 優子
野中加奈子
芳我 隆志
兵頭 敦
平岡 隆
福井 清美
福田 佳
藤本 清
藤原 明裕
松浦 智美
松木 美樹
松本 志織
三津田 一子
山内 晃
山口 千恵

12月1日は世界エイズデー

愛媛県では、十二月一日から七日までを「愛媛エイズ予防週間」と定め、各保健所において、夜間血液検査及び夜間電話相談を実施いたします。エイズで悩み・不安・疑問を抱いている方は、この機会に是非ご利用下さい。

○夜間電話相談

日時 十二月一日(金)
午後五時～九時

電話番号 三一一四〇三六
三一一八四五五

○夜間血液検査

日時 十二月四日(月)・五日(火)・六日(水)
午後五時～八時

場所 松山中央保健所
一階 予診室

料金 無料

以上について、専門の医師等が相談等にお答えします。また、プライバシー等秘密は絶対守ります。お気軽にご利用下さい。

こども健康教室

対象 病気等で日常生活に支障をきたしている方
時間 午後一時三十分～三時三十分
場所 町民会館
料金 無料
日程 十一月十三日(月)・二十四日(金)
十二月四日(月)・十五日(金)

おとしより健康相談

「おとしより」とその家族を対象に、心と身体の個別健康相談
時間 午後二時～四時
場所 役場保健婦室
料金 無料
日程 十一月六日(月)・二十一日(月)
十二月四日(月)・十八日(月)

※要予約・事前の申し込みが必要
(役場福祉課保健婦 ☎六四一四一七〇)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 竹内 健二 | 高橋由樹子 | 高須賀健志 | 清家 明 | 下岡 貢治 | 重松 隆志 | 塩田 容子 | 里本真知子 | 佐藤 優子 | 近藤 大典 | 近藤 里絵 | 近藤 邦彦 | 小谷野純一 | 木村 智永 | 北下 愛弓 | 亀岡 陽子 | 片山 和美 | 形岡 繁 | 笠松 明 | 柿内 隆司 | 大森 優樹 | 大西 裕子 | 大西 浩三 | 宇都宮広美 | 宇都宮英美 | 上野 善信 | 今井 良尚 | 今井 静恵 | 伊藤 武朗 | 石丸 敬文 | 相原 正勝 | 田窪 | 和田 広美 | 渡部 昭子 | 山本喜代美 |
| 松末 綾輔 | 藤本由佳里 | 藤井 智子 | 永田 新平 | 詰石 順子 | 竹内 裕二 | 越智 邦夫 | 出原 崇 | 井田 千春 | 青木 利絵 | 田窪 | 渡部 満恵 | 渡部 博志 | 渡部 純子 | 渡部 恭子 | 渡部 加奈子 | 吉川 円 | 横山 美香 | 山下 進一 | 山内 友紀 | 山内 真紀 | 山内 咲子 | 矢野 葉子 | 森 みどり | 森 直人 | 森 ちふみ | 宮城みちる | 的場 栄一 | 藤原亜由美 | 藤岡 智子 | 平岡 慎 | 兵頭 律子 | 名古屋 隆 | 中川 玉己 | 遠富めぐみ |
| 佐伯 尚子 | 後藤 勝 | 近藤 秋子 | 菊池あずさ | 岡崎 健二 | 大森 尚子 | 尾海 加奈 | 植田 美保 | 今井 豊彦 | 井上久美子 | 秋山江利奈 | 牛瀬 | 渡部 友重 | 由井 大介 | 山崎 弘史 | 山内 啓 | 八木 祐一 | 八木美穂子 | 三瀬 晶子 | 藤原 香織 | 藤田 誠樹 | 佐伯三枝子 | 黒河 美希 | 菊池真由子 | 越智 美佳 | 小倉 美江 | 大森 英樹 | 大西 郁男 | 大北 利香 | 江崎 寿紀 | 相原 宗仁 | 牛瀬 | 森 美樹 | 村尾 恵一 | |
| 藤山 美恵 | 佃 淳子 | 東村みずき | 篠森祐美子 | 大川 豊 | 伊賀上 博 | 南野田 | 福井 章子 | 中野 洋一 | 露口 哲久 | 高野 真希 | 下内 彩子 | 小倉 保徳 | 大西 可奈 | 上 樋 | 向井 孝明 | 岩田 順二 | 播磨台 | 和田 真美 | 渡部 泰臣 | 渡部 美香 | 山本 晴彦 | 目崎 優 | 三浦 正幸 | 本田 孝治 | 姫野ちなみ | 野中 正光 | 野中 純也 | 西森 孝夫 | 永松 昭子 | 中村 誠 | 田村 亮 | 白石 直継 | | |
| 渡部 直樹 | 八木奈美子 | 森 裕美 | 森 勇人 | 松下昌一郎 | 佃 聖 | 曾根 恵美 | 杉木小百合 | 菅野 理絵 | 片岡 恵美 | 上 林 | 渡部さおり | 明賀 清志 | 牧 潤子 | 牧 克薫 | 牧 安津子 | 藤川こずえ | 西川奈津恵 | 池川 友幸 | 新 村 | 驚峯 尚子 | 山内竜太郎 | 武智 美鈴 | 竹内 勇人 | 新瀬 惣太 | 新瀬 京子 | 金子 達也 | 岡田 千寛 | 北野田 | 明賀 寛 | 明賀 久弥 | 三多 明夫 | | | |
| 野首 進也 | 高市 玲子 | 上 村 | 渡部 雅津子 | 森 始子 | 松下 奈巳 | 藤本明日香 | 藤井 由香 | 原田 博士 | 野中 三子 | 野中 匡士 | 野中 憲二 | 野中 英治 | 丹生谷伊津子 | 新山 修 | 高橋 直子 | 高橋 圭子 | 河野 博 | 久保 弥生 | 菅崎かをる | 小山 愛 | 上田 理 | 植杉 奈々 | 上杉 耕生 | 板垣 憲明 | 青井 忍 | 相原 賢司 | 下 林 | | | | | | | |

商工会青年部15周年記念

九重親方 (58代横綱 千代の富士) 講演会

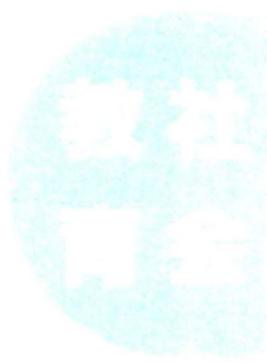


日時 12月2日(土) 開演午後6時30分(開場午後6時)
 会場 町民会館 大ホール
 聴講料 聴講料は無料です。

ただし、入場整理券が必要です。往復はがきに住所・氏名・年齢・希望人数(1枚で2名まで)を書いて、商工会までお申し込み下さい。(返信用はがきには必ず宛先をお書き下さい。)抽選により、800名様に入場整理券を返送させていただきます。

申し込み期限 11月17日(金)必着分
 申し込み・問い合わせ先 重信町商工会
 重信町見奈良495番地3
 TEL64-1254

主催 重信町商工会青年部
 後援 重信町・重信町商工会



問い合わせ・申し込み先
町民会館社会教育課
☎六四一五〇〇代

福寿大学



日時 十二月十二日(火)
午後一時～
場所 町民会館大ホール
内容 映画鑑賞 「七人の侍」
受講料 無料
主催 教育委員会
※終了後、閉講式を行います。

町文化協会セミナー



日時 十一月二十八日(火)
午後七時三十分～
場所 町民会館第一・二研修室
講師 松山東雲短期大学学長 森川 國康
演題 「自然の多様性と環境保全」
入場料 無料
主催 町文化協会



文化財保護強調週間 (11月1～7日)

文化協会団体紹介

茶道部

私たち茶道部は、月二回、第一と第三火曜日に町民会館三階和室で教室を開き、茶の心に接する努力を重ねております。

茶道と言いますと、堅苦しく感じるかもしれませんが、しかし日頃忙しく過ごしている日々の中、ほんの数時間を和気あい／＼、一種の井戸端会議のように集い、お茶の稽古を通じて心の安らぎを覚えていきます。

会員は、六十歳以上を原則としており、現在十余名の参加者で続けております。

また、毎年十一月の町文化祭と三月の町老人クラブ趣味の会発表会には、私たちの練習の成果を披露する意味も含め、粗茶をさしあげています。

私たちは日本古来の茶の湯の心に親しみながら、新しい仲間たち

の輪を広げたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先 高須賀 文子

☎六四一三二二三



重信郵便局長杯レクリエーションバレーボール大会

この度、重信郵便局長の御好意によりレクリエーションバレーボール大会を、レクバレー協会の協力で開催することになりました。秋本番、さわやかな汗を、

かいてみませんか。経験のない方でも楽しめる、やさしいバレーボールです。一チーム六名以上何名でも参加できます。仲良しのグループや御近所の方々、また、御夫婦等で、どうぞふるって御参加下さい。

日時 十一月二十六日(日) 午前九時～

場所 重信町トレーニングセンター

申込方法 はがきに、チーム名、チームの代表者の住所、電話番号、人数を書いて十一月二十日(月)までに、重信町牛淵197-1 35-23、レクバレー協会・藤原まで、お申し込み下さい。大会要項をお送りします。

参加賞、その他の賞があります。

婦人會

ごみの減量とリサイクルへの取り組み

今年の夏は、大変な暑さにもかわからず、水不足の心配がなかったことは幸いでした。この暑さや昨年の水不足は、地球の温暖化と関係があり、異常気象が原因の一つといわれています。私達が物を大切に使う美徳がうすれ、高度の経済活動と利便さを求め続け、大量のエネルギーを消費するため炭酸ガスがふえるためといわれます。

近く、重信町でもゴミの減量とリサイクルのため分別収集を行うそうです。ゴミと関係の深い主婦が、この機会に町のゴミ分別収集に協力して、資源保護の推進を図り、次の世代へ健全な地球環境を残すことが大切であると思



牛乳パックから手すきはがきづくり

ます。婦人會でも現在、次のようになりサイクルに会員一同、楽しくとり組んでいます。一、簡単に作れ、手にも水にも安全、廃油からの石けん作り。

二、生ゴミを減量し、良質の堆肥をつくる「ボカシ」づくり。三、牛乳パックから手すきはがき・椅子づくり。

リサイクル活動をしてみたい方は、是非ご参加下さい。

(婦人會会長 藤岡 侑子)



女性塾

九月十九日、高知県伊野町へ研修旅行を行いました。

伊野町総合健康センターでは、在宅ケアシステムとネットワーク、在宅ケアの体制、在宅要介護者への支援システム等について保健婦の吉永さんより説明がありました。

重信町より約四千人ほど人口の多い伊野町は、在宅福祉



伊野町 紙の博物館にて

については高知県では先進地というだけあって、ソフト面の充実をと窓口を一本化し、各関連機関と連絡・調整・協力しながら、サービスを提供しているスタッフの熱い思いと、行動力の素晴らしさがピンピン感じられました。

また、八月一日にオープンしたばかりの土佐和紙工芸村や、紙の博物館では千年の歴史を誇り国の伝統工芸品でもある「土佐和紙」にもふれてきました。

道中、バスの中では副塾長の軽妙な司会でゲームをしたり、歴代の塾長が当時の苦労話を披露しあったりの和気あいあいの研修旅行でした。

女性塾生 S・K

国際交流サロン



ドイツのお話

夏の暑い日、川内中学校英語講師のクラス・デー・ター・オルトさんを講師としてお招きし、故郷であるドイツ

ツの話の聞きました。

教育システムの説明や、緑豊かな重信町の風景は故郷とよく似ていること、又、国際結婚のエピソード、来日当初のカルチャーショックの経験談等、大変興味深いお話でした。日本のビールも美味しいが、時々、ドイツのビールが懐かしいとのことでした。

(国際交流サロン事務局)

次なる企画は……

『世界の祝日料理』

(感謝祭)

解説を交じえての調理実習を行います。

講師 ピーター・サーシーさん

(アメリカ・オハイオ出身・重信中学校英語助講師)

場所 町民会館調理室

日時 十一月十一日(出)

九時三十分～十五時

定員 三十名(定員になり次第しめ切ります。)

参加費 材料費のみ

連絡先 国際交流サロン事務局 橋本

事務局長 橋本

☎六四一三二五



「いよいよ」時のために
消火器を！

重信町消防団では、消火器の新規購入及び詰替えの斡旋を行います。

近年、出火原因として目立っている天ぷら油による火災の消火に有効な消火器を家庭に最低一本は備えておきましょう。

消火器のことについては、お近くの消防団員又は、役場総務課(六四一-二〇〇一代)へお問い合わせ下さい。

消火器価格表

(単位:円)

	型式	価格		型式	価格
詰替	3	1,700	新規購入	4	3,300
	4	1,900		6	4,400
	6	2,100		10	4,900
	10	2,500		20	9,700
	20	5,700			

生ごみを家で
処理してみませんか

生ごみの減量化を効果的に推進するために、生ごみ処理容器の購入者に対し補助金を交付します。

○補助対象

町内の一般家庭を対象に、一世帯二個を限度とします。

○補助金額

別表のとおりです。

○申し込み期限

十二月二十七日(水)

○申し込み・問い合わせ先

J A 重信町(北吉井・南吉井・拝志各支所)

※印鑑が必要です。

詳しくは、役場福祉課までお問い合わせ下さい。

生ごみ処理容器価格表

(単位:円)

容器の種類	容量	販売価格(消費税込)	町補助金	購入者負担
A	120ℓ	6,500	3,000	3,500
B	130ℓ	5,000	2,500	2,500
C	200ℓ	7,500	3,000	4,500
D	11ℓ	1,600	800	800
E	15ℓ	2,000	1,000	1,000

DとEは「ボカシ」専用容器です。

特別弔慰金の支給について

国では、戦後五十周年にあたり、弔慰の意を表すために特別弔慰金を支給いたします。

一 支給の方法

特別弔慰金は、戦没者一人について、額面四十万円の国債で支給され、平成八年から平成十七年までの十年間にわたって毎年四万円ずつ償還されます。

二 支給の条件

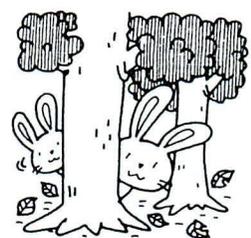
特別弔慰金を受けることができるのは、満州事変(昭和六年九月十八日)以後の戦没者等の遺族の方ですが、平成七年四月一日現在において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に限られます。

三 支給の対象者

特別弔慰金は、主として次に記載された遺族のうち、次の順序に従って最も順位が先の方お一人に支給されます。

(1) 平成七年四月一日までに弔慰金(遺族国庫債券)の受給権を取得した方

(2) 戦没者等の子。



(3) 戦没者等と生計をともにしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹(婚姻、養子縁組により平成七年四月一日に氏が変わっている方を除く。)

(4) (3)以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹。

(5) (1)から(4)以外の三親等内の親族(戦没者等の死亡まで引き続いて一年以上生計をとりにしていた方。)

四 請求の期限

請求は、平成十年三月三十一日までです。それまでに請求しないと受給できなくなりますのでご注意ください。

詳しくは、役場福祉課または愛媛県民福祉部高齢者福祉課 援護恩給係 ☎四一-二二一(内線二五三三)までお問い合わせ下さい。

えひめ産業文化まつり

日時 11月25日(土) 午前10時～午後5時
26日(日) 午前9時～午後3時30分
場所 県民文化会館(松山市道後町)
農業試験場跡地(松山市道後一万)
主な行事 ふるさと物産展 パノラマ展
技術・アイデア展 ふるさと感謝の広場
えひめの食と文化展 ふるさと市コーナー
ちびっこ広場

今年の12月3日から
松山地区の市内局番が
3ケタになります。

市内局番の頭に0がつきます。

市外局番 市内局番
0899-△△-□□□□

089-9△△-□□□□



1・2・3で、キュービッド。

秋祭りを前にした十月七日、町民会館で獅子舞大会が行われました。

町内九地区の特色ある獅子舞が披露され、会場はお祭りムードで盛り上がりました。

獅子舞大会

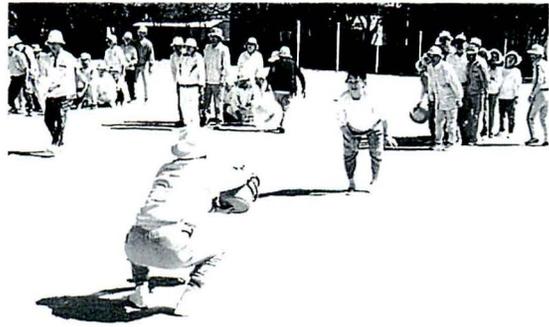


九月二十八日に町民会館で老人福祉大会が行われました。米寿該当者三十八名、金婚式該当夫婦二十四組、健康優良老人百二十二名を迎え、記念品の贈呈をした後、拝志保育所園児による獅子舞、アンサンブル・クローバーによるコーラスなど数多くのアトラクションにより、顕彰者の長寿と健康をお祝いしました。

また、九月十八日に行われた老人スポーツ大会の結果は、以下の成績のとおりです。

優勝 田窪
準優勝 下林

いつまでもお元気で



第三位 南野田
おめでとうございます。

秋の全国交通安全運動の一環として九月二十九日、重信町西岡の県道松山川内線で、松山東交通安全協会、東温ライオンズクラブの主催により「シートベルト着用キャンペーン」が行われました。国立療養所看護学生二十名もキャンペーンに参加し、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

近年は高齢者の死亡事故が増加しています。運転者一人一人が交通安全の意識を高め、事故のない住みよい町にしましょう。

シートベルト着用キャンペーン



赤十字巡回健康講座

九月七日、赤十字社員増強運動の社員に対する還元事業として、「赤十字巡回健康講座」が町民会館で開催されました。

「阪神・淡路大震災について」の講演では、松山赤十字看護学校専任教師の宮下佳生先生が実際に救援活動に当たられた体験談等話して下さいました。

そのほか、赤十字事業に関する映画や救急法講習、検尿・血圧測定が行われました。



住民の声を行政に

本年八月から、町関係者が町内十九地区に出向き、身近な地域課題やそれぞれの特性等について、町民の皆様の生の声を聞き、行政に反映させるため、町民の方々と懇談会を開催しています。

各地区から様々なご提言をいただいております、この懇談会を契機に本町の二十一世紀をめざした行政を進めたいと考えています。

十月末現在までに、十三地区で行われました。



